

# 和歌山県の魚は安全です

魚介類のPCBや水銀汚染が大きな問題になり、県では関係機関の総力をあげて、県下の魚介類を調査してまいりました。その結果、いずれも国の基準を大幅に下まわっていることがわかりました。

また、念のため水質検査もあわせて行ないましたが、PCBや総水銀は検出されませんでした。もちろん、水産庁が発表したPCBの汚染水域は、県下には一カ所もありません。

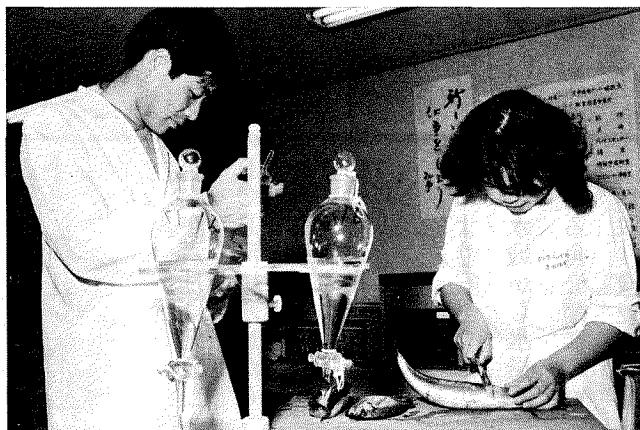
みなさん、和歌山県の魚は大丈夫です。安心して食べてください。

## 国の暫定基準を大幅に下まわる検査結果

	国の暫定基準値	和歌山県の魚介類
PCB	3 ppm	たちうお 1.1 ppm
		かき 0.15 ppm
総水銀	0.4 ppm	いわし 0.17 ppm
		しじみ 0.09 ppm

※ 国の暫定基準は、日ごろ私たちが食べている魚介類の量であれば、食べつづけても安全だということに定められています。

本県産魚介類の検査結果のうち、魚と貝について、それぞれ最高値のものをもって比較してみても安全であるということが証明されました。(検査結果全体の表は、裏面にあります。)



魚の抜き取り検査で  
きびしくチェック  
(県衛生研究所で)



安全な魚を食卓へ▶

●PCB

ポリ塩化ビフェニールと呼ばれる有機塩素化合物。水にとけにくい油や有機溶剤によくとけ、不燃、絶縁の性質をもっています。このため、トランス、コンデンサー、カーボン、ペンキ、テレビの部品など広い用途があります。いったん人体にはいと脂肪中にとけこんで、体内蓄積性が非常に高く、現在は製造が禁止されています。

●水銀

無機水銀と有機水銀を総称して総水銀といえます。

◎無機水銀——普通、水銀という場合は、この無機水銀のことをさしています。例えば体温計などに使用されているものです。

有機水銀に比べて人体に吸収される率が低いものといわれています。

◎有機水銀——有機水銀には、メチル水銀アルキル水銀、フェニール水銀などがあり、いずれも非常に毒性のつよいもので、いま問題になっているのはメチル水銀です。

●ppm

微量に含まれる物質の割合を表わす単位。パーセントは百分率を表わすようにppmは百万分率を表わす。

たとえば大気汚染では、空気1m<sup>3</sup>中に1ccの汚染物質が含まれている濃度を1ppmといえます。

また水質汚濁では、1ℓ中に1mgの汚濁物質がまじっている割合を1ppmといえます。

国の暫定基準

PCB 3ppm (遠海産 0.5ppm)

総水銀 0.4ppm

メチル水銀 0.3ppm



水質検査では、水銀、PCBともに「検出せず」という結果が出ています。

水銀

無機水銀を使っている

工場は県下に一社ありますが県の指導により、昭和四十四年に水銀処理施設をつくり、処理しているので水銀は排出されていません。

PCB

PCBを製造している

工場やPCBを原料や材料にしている工場などは県下にありません。熱媒体などとして密閉した形で利用しているPCBについてもその使用をやめ、製造元へ返すよう指示しています。

いつまでも安全な魚がすめるよう海上監視や、検査を重ねていきます。

魚介類の調査結果

●PCBの部

場所	魚種	濃度(ppm)
和歌浦湾	あさじ	0.30
	さば	0.08
	小さば	0.05
	小あじ	0.15
	小きす	0.04
紀伊水道	たちうお	1.1
	いさぎ	0.29
	あさじ	0.23
湯浅湾	いさぎ	0.27
	あさじ	0.08
	たちうお	0.46
田辺湾	いさぎ	検出せず
	いさぎ	0.06
	はまち(養殖)	0.25
加太	あじ	0.23
	さざえ	検出せず
紀の川口周辺	しじみ	0.09
	かき	0.15
	すずり	0.19
	えぞ	0.25
	いわし	0.42
	ぼら	0.03
	しらす	検出せず

和歌川河口	あさり	検出せず
湯浅湾	さば	0.29
潮岬沖合	あじ	0.35
	さば	0.15

●総水銀の部

場所	魚種	濃度(ppm)
紀の川口周辺	えぞ	0.13
	いわし	0.17
	ぼら	0.06
	このしろ	0.05
遠洋もの(太平洋)	まぐろ	0.08
近海もの(太平洋)	まぐろ	0.13
紀の川南海橋上手	しじみ	0.09
紀の川河口テトラポット	かき	0.05
和歌川河口	あさり	0.06



県では、水産庁が六月に発表した全国八つのPCB汚染水域からとれた魚介類を入荷しないように県下の魚市場に対して指示をしています。

なお、消費者のより安全をはかるため、その他の水域から水揚げされ、入荷している魚介類についても、厳重な抜き取り検査を実施しています。

また、県内産の魚介類と他府県のものとの区別をはっきりするため、出荷の時に「和歌山県産」と表示することになっています。

漁業者救済対策

全会一致で政府に望む

……県議会……

県議会は、七月五日、開会中の六月県議会本会議において、「PCB・水銀等の汚染問題による漁業被害者緊急対策」の政府に対する要望決議を全会一致で可決。ただちに、政府の関係機関に強く申し入れました。